



子どもたちの見守り【枇杷島】



夜回り隊(夏・夕方頃)【半田】

# 地域の安心・安全活動

安心・安全で元気な地域づくりを目指して  
柏崎市コミュニティ推進協議会だより



第15号

【発行】  
柏崎市コミュニティ推進協議会  
TEL: 21-2272  
FAX: 24-7714

近年、危険運転による交通事故や、子どもたちが被害者となる事件がクローズアップされ、社会問題となっております。

コミュニティ協議会では、こうした事故や事件から地域を守るため、町内会や学校と協力しながら、地域の安心・安全に関する事業にも取り組んでおります。

具体的には、子どもたちの登下校における交通立哨や、夜回りの実施、あいさつ・声かけ運動などの活動に関わっております。

今後も、地域の皆さまが安心して安全に暮らせる地域を実現するための活動を行ってまいります。皆さまのご協力をお願いいたします。



柏崎市コミュニティ推進協議会(通称「コミ協」とは…)

柏崎市の31地区のコミュニティ協議会が参加し、各地区の地域づくりの中心的役割を担うコミュニティ職員が各コミュニティの抱えている課題の共有や研修などを通して地域の活性化に取り組むための組織です。

# コミュニティの研修



小千谷市 わかとち未来会議 (9月4日)

今年度は、小千谷市「わかとち未来会議」、村上市「むらかみ町屋再生プロジェクト」の視察研修を行いました。

小千谷市では、中山間地の有志が集まり「わかとち未来会議」を設立した過程や、地域資源を活かしたグリーンツーリズム等を学びました。



村上市 むらかみ町屋再生プロジェクト (9月20日)

村上市では、町屋を公開する「屏風まつり」や「町屋の外観再生プロジェクト」により、城下町の歴史を活かすまちづくりを視察しました。

どちらも、地域にかける思い、行動力、発信力が素晴らしく、資金が無くても工夫と知恵を重ねて事業を継続できることを学びました。

# コミュニティ事業の課題を研究

平成30年5月にコミュニティ研究委員会を発足し、コミュニティが抱える課題や在り方を研究し、9回の会議や各コミュニティに対する調査を実施しました。

委員会では、高齢化・人材不足等の課題解決に向けた検討を行い、今後のコミュニティセンターのありべき姿について話し合い、市に対して運営支援を要望しました。



## 編集後記

年の瀬も押し迫ってまいりました。今年を振り返ると、災害の多い年だったと感じます。これから本格的な冬を迎えますが、雪はどうなるでしょうか。大雪になりすぎることなく、穏やかに過ごせる冬になるといいですね。



コミュニティ推進協議会では、課題共有や見聞を広めるため、センター長・主事研修や、全体研修、先進地視察研修等を行っております。

# コミュニティの講座を紹介します!!

## 北部郷 (西中通、松波、中通、高浜、荒浜)



松波コミセン

館内を見学し、普段の講座とは違うゆつたりと落ち着いた雰囲気の中で、とても素敵な作品ができてき上がると共に、贅沢な時間も満喫できました。

**「布絵講座」**  
この講座は、藍木綿や陶磁が展示されている同一庵藍民芸館で開催しました。色とりどりの古布の柄や色合いを活かしながら、花びらや葉っぱの形に切り、藤や紫陽花など季節の花や、残雪の米山の風景など思い思いの布絵を作り上げました。



西中通コミセン

まさに目からウロコが落ちるような衝撃でした。閉講後、「整理収納術を教えていただき、片付けを始めるきっかけづくりになりました。」という声が聞かれました。

**「整理収納セミナー」**  
整理収納アドバイザーの山岸先生を講師に整理収納見学ツアーを開催しました。物を片づけてスッキリと暮らすにはどうしたら良いか、整理収納の基本とリバウンドしない整理収納術を教えていただきました。座学の後にはスッキリと収納されているお部屋を見学し、



荒浜コミセン

**「ミュージックケア」**  
高齢者の心と体の健康保持のため、「明るく活動的な毎日を過ごす」をテーマに平成22年度から始めた「いきいき元気塾」。毎回内容を変えて年間6回の講座を開催しています。今年度の第1回目は「ミュージックケア」。音楽をかけながら心と体に快い刺激を与え、情緒の安定と元気回復をはかります。講座を通じて、知識と技能を習得しながら高齢者の生きがいづくりと社会参加につなげていくことを目指しています。



高浜コミセン

**「ウォーキング教室」**  
体感を意識しながら体のバランスを整えウォーキングに役立てる講座です。ストレッチもあり、汗だくになり取り組む表情は皆さんさつそうとしています。次の日のあちこちと痛む筋肉痛は、気持ちのいい達成感になっています。次年度も回数を増やし継続していきたい講座です。



中通コミセン

**「男の料理教室」**  
「男子厨房に入るべし」を合言葉に、「男の料理教室」をはじめ3年目になります。秋に3回、講師の方から作り方を丁寧に教えていただき、毎回異なるメニューで腕を振ります。参加者は包丁をほとんど握らない方から、プロ級の方まで様々ですが、自分で作った料理の味は格別です。教室の成果を自宅で活かしている方もおられるようです。

楽しい講座が他にもたくさんあります。ぜひ参加してみませんか。

次回は西山郷 (南部、石地、別山、中川、大田、二田) を紹介します。

### 第15回

## 元気なコミセンにお邪魔します



半田地域コミュニティ振興協議会  
センター長  
**齋藤 信**  
(中央郷)



半田コミュニティセンター

**★半田コミュニティセンターの紹介**  
当コミュニティセンターは、国道8号バイパス(平成14年開通)を挟み、半田、東半田、西半田、岩上、朝日が丘、希望が丘、長峰町、南半田、ゆりが丘、の9つの町内会で形成され、「つながろう地域で、つなげよう未来へ」を目標に、地域づくりを行っています。



地域の風景 (そば畑)

**★地域の紹介**  
半田地域は、国道8号バイパス沿いに位置していることから、現在でも新しい住宅が造成され、若い世代の割合が比較的多く、高齢者から子どもまで、幅広い世代がいる地域になります。



陶芸教室



笹団子づくり

**★コミセン活動の紹介**  
「ふれあい部」「いきがい部」「すこやか部」「さわやか部」「あんしん部」の5つの専門部会に分かれて、地域活動を実施しています。  
「ふれあい部」・・・世代間交流、交流イベント、笹団子づくりなど  
「いきがい部」・・・生涯学習講座として陶芸教室、自然観察など



ニュースポーツ (グラウンドゴルフ)



史跡整備

「すこやか部」・・・地域の大会、ニュースポーツ、子ども育成事業など  
「さわやか部」・・・地域の環境美化、史跡整備、コミセンのイルミネーションなど  
「あんしん部」・・・防災講座、夜回り隊(表紙参照)など  
各専門部の積極的な活動を、見て楽しくなるような「広報はんだ」でお知らせしています。  
この他にもコミセン映画上映会や、国道8号バイパスを「そばロード」として地域の中学生と協力してそばを育てて、そば打ちを行うなど、地域の魅力を発掘しながらさまざまな活動を行っています。